

免疫のお話 『予防接種』 編



《 インフルエンザワクチンについて 》

Y: インフルエンザウイルスに感染するのを予防するための免疫(抗体といいます)

インフルエンザワクチンを接種する時期は **11 月中頃**がおすすめです

ワクチンを接種

抗体が存在しない状態
(11 月中頃)

抗体が十分に存在しない状態
(5 月初め頃～)

抗体が作られている状態
(11 月中頃～12 月初め頃)

予防が期待できる

抗体が十分に存在する状態
(12 月初め頃～5 月初め頃)

予防(免疫)が期待できるのは
接種後約 5 カ月までのため、
ワクチンは毎年接種する
必要があります

抗体ができるまで
2～3 週間かかります

インフルエンザワクチンを毎年接種するのには、2つの理由があります。

- 1 つ目…ワクチンの効果が長く続かないから
- 2 つ目…ウイルスが毎年変化するから

ワクチンの効果は、**接種後約 5 カ月**までです。

ワクチンは、**毎年 11 月中頃**に接種することがおすすめです。

健康やお薬などについて、気になることがある方は、相談薬局・出張相談会で薬剤師に気軽にお尋ねください。

《 一出張相談会ー 保健室に学校薬剤師が来ます 》
ドラッグレター、医薬品や健康などについて、質問・相談がある人は保健室まで！

11 月 19 日 12 時 30 分～13 時 10 分

作成・発行元 北陸大学薬学部 准教授(学校薬剤師) 大柳賀津夫
北陸大学薬学部薬学科5年生 村中佑晟・木山美佳